



進路だより

7月11日(火)

No. 9

第二中学校進路

自己申告書を書こう

昨日の進路学活では、自己申告書について学びました。実力の切迫した公立入試では、合否を分けるカギとなってくる大切な書類です。気合を入れて取り組みましょう。夏休みに一度完成させてもらうのですが、今の段階から中学校で学んだこと・エピソードなどを振り返り、スムーズに作成できるようにしておきましょう。(夏休みまでに学んだこと・エピソードを書けるようにしておきましょう。)以下に進路学活で学んだ「自己申告書の書き方」をのせています。参考にしてください。

○まずは自己申告書に書ける内容を3つ探し、整理する

まずは、「自分が自己申告書に書ける内容は何か」を考えなくてはなりません。それは、委員会活動なのか、部活動なのか、日々の勉強なのか、班長や行事のリーダーか、掃除や係の仕事だって一生懸命取り組み、そこから学びを得ることができていれば十分に書くに値する内容です。そういった経験を見つけ、「自己申告書を書こう」プリントに箇条書きでもいいので書き出してみましょう。以下、進路学活で学んだ自己申告書の書き方です。

この3年間の中学校生活で

- ① **何を学んだか(テーマ)**
- ② **エピソード(ストーリー)**
- ③ **高校でどう生かすか。**

① 中学校生活を通して学んだこと

(例)

- ・代議員⇒クラス代表として立場の難しさとやり遂げた時の達成感の大きさ
- ・部活動⇒あきらめずに努力することの大切さ
友達のありがたさ
- ・行事⇒リーダーとしてまとめることの難しさ
まわりの気持ちを考えることの大切さ

あなたはこの3年間で何を学びましたか？

② エピソードを考える(どんな経験をしたか)

学んだこと

- ・部活動⇒あきらめずに努力することの大切さ・友達のありがたさ

エピソード

3年間〇〇部に所属していた。最初は練習についていくのもつらく、休みもほとんどなかったので辞めてしまおうかと考えることもありました。しかし、友達が頑張っている姿を見ると「自分もここであきらめたくない」という思いが湧いてきた。それからは、友達と励ましあい、チーム内の誰にも負けたくない練習を重ねた。2年の夏、大事な試合の前にスターティングメンバーの発表があった。そこに自分の名前があった。その時の喜びは今でも忘れられない。あきらめずに努力してきたよかったですと心から感じる事ができた。結果としては素晴らしい成績を残せたわけではないが、この経験は今後の自分にとって大きな力になると思う。

エピソードは具体的にわかりやすく。起承転結を意識する。

③ 学んだことをどう生かすか

(例)

- ・部活動⇒あきらめずに努力することの大切さ
- ・部活動に限らず、どんなことに対しても、逃げることなく努力を重ねていきたい
- ・行事⇒リーダーとしてまとめることの難しさ
まわりの気持ちを考える大切さ

これからも積極的に行事に参加し、級友と協力しながらクラスをまとめていきたい。また、人の気持ちを常に考え、自分がリーダーでなくともまわりを支えていけるようにしたい。

これを実際の文章にしてみると・・・

起 私は、中学校生活を通して、あきらめずに努力することの大切さを学びました。私は、3年間〇〇部に所属していました。最初は練習についていくのもつらく、休みもほとんどなかったのので辞めてしまおうかと考えることもありましたが、友達が頑張っている姿を見ると「自分もここであきらめたくない」という思いが湧いてきたのです。それからは、友達と励ましあい、チーム内の誰にも負けたくない練習を重ねました。2年の夏、大事な試合の前にスターティングメンバーの発表がありました。なんと、そこに自分の名前があったのです。その時の喜びは今でも忘れられません。あきらめずに努力してきたよかったですと心から感じる事ができました。結果としては素晴らしい成績を残せたわけではないですが、この経験は私にとって大きな自信となりました。今後もこの経験を生かして、何事においても簡単にあきらめることなく、努力を続けていきたいと思っています。

この文章を3つ考えましょう！(1つ400字程度)

○令和6年度公立高校入試(今年度入試)のアドミッションポリシーが発表されました。

昨日の進路学活でも触れたと思いますが、今年度入試に向けたアドミッションポリシー等が発表されました。**アドミッションポリシーとは、各高校が「求める生徒像」のことです。**なので、当然最終的には、みなさんの書く自己申告書は志望校のアドミッションポリシー(求める生徒像)に合致するように書いていかなければいけません。しかし、アドミッションポリシーにとらわれすぎて内容が薄くなってしまっただけでは本末転倒です。はっきりと志望校が決まっている人は意識して書いてもらうにこしたことはありませんが、今回は無理にあわせようとしなくても構いません。ただし、最終的にはみんなアドミッションポリシーに合わせていかなければいけないのも事実なので、一度この夏休みのうちにどのようなものか目を通しておいてもらえばいいかと思います。ちなみにアドミッションポリシーは、大阪府のHPから見るすることができます。他にも色々と情報が更新されているので定期的にチェックしておきましょう。